

A red globe with a grid of latitude and longitude lines, centered behind the text.

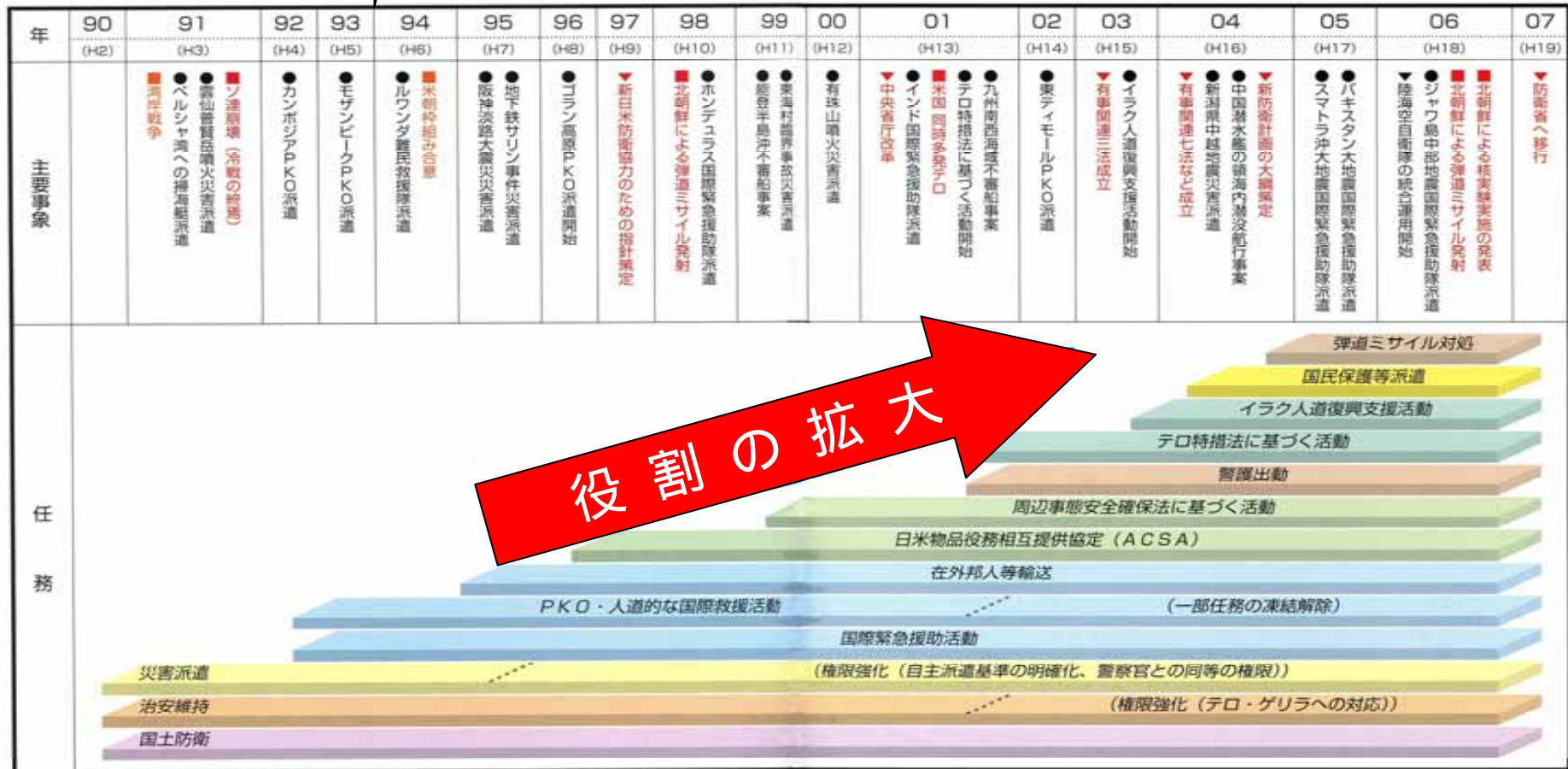
自衛隊による国際平和協力活動

平成21年11月4日

防衛省・自衛隊の役割の増大

1990年代以降、国際平和協力活動をはじめとして自衛隊の役割はますます増大している。

➡ 自衛隊の「管理」から「活用」へ



わが国の防衛政策の基本構造

目的

わが国の平和と独立を守り
国の安全を保つ

手段

日本自身の努力

同盟国との協力

地域や国際社会
との協力

具体的な方法

自衛隊

日米同盟

国際平和協力活動

安全保障対話/
防衛交流/共同訓練

軍備管理/軍縮/不拡散

自衛隊による国際平和協力活動

国際平和協力業務

いわゆるPKOなど

国際緊急援助活動

被災国での医療活動など

海賊への対処

ソマリア沖・アデン湾における
海賊対処行動

国際テロ対応のための活動

インド洋での補給支援活動

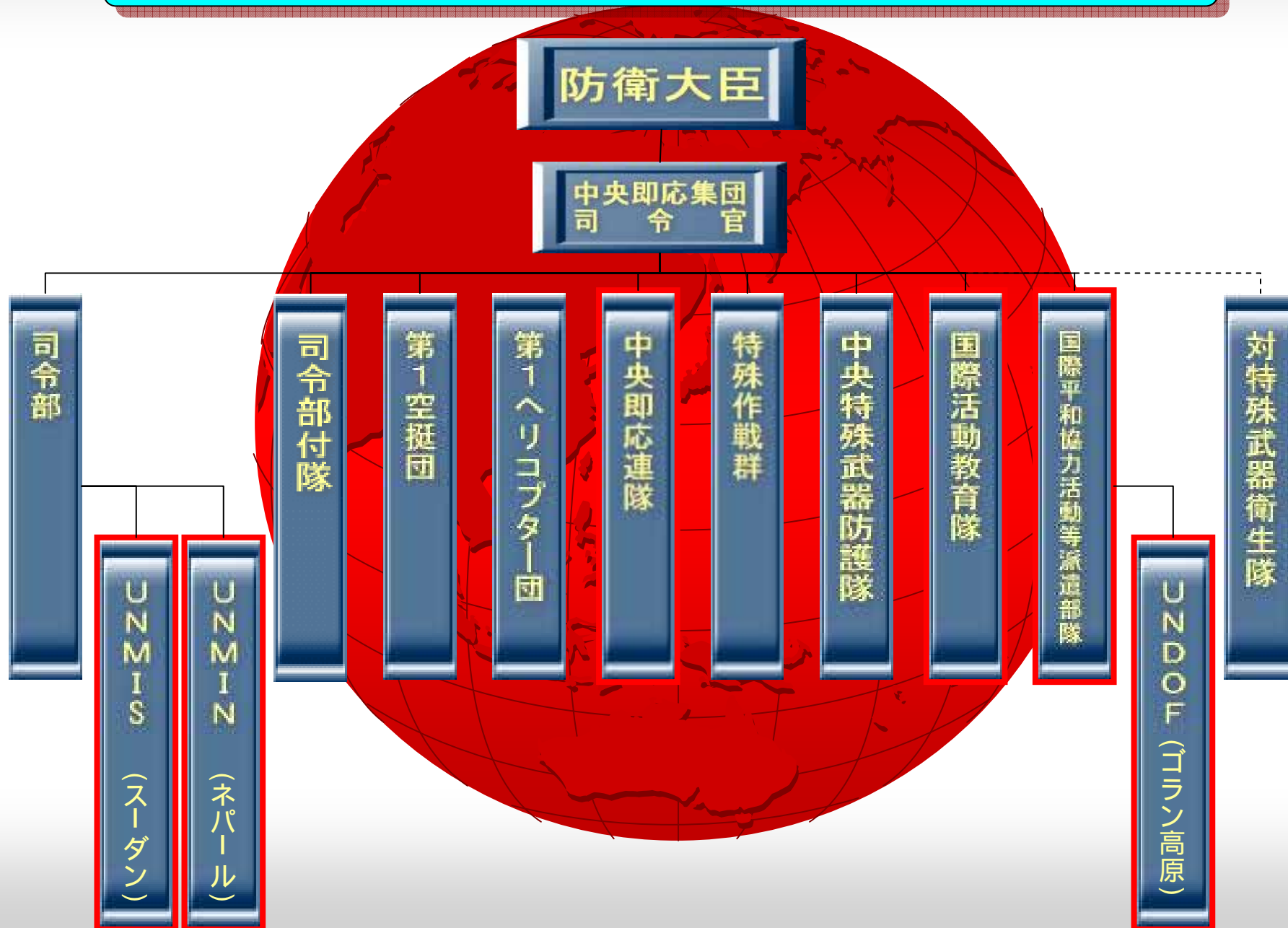
イラク国家再建に向けた
取組への協力

(本年2月に終了)

大量破壊兵器の不拡散
(PSI)などへの取組

PSI阻止訓練への参加など

陸自中央即応集団の編成



自衛隊が実施した国際緊急援助活動

パキスタン
H17.10.12~H17.12.2



インドネシア
H17.1.6~H17.3.23



ロシア
H17.8.5~H17.8.10



ホンデュラス
H10.11.13~H10.12.9



トルコ
H11.9.23~H11.11.22



タイ
H16.12.28~H17.1.1



イラン
H15.12.30~H16.1.6



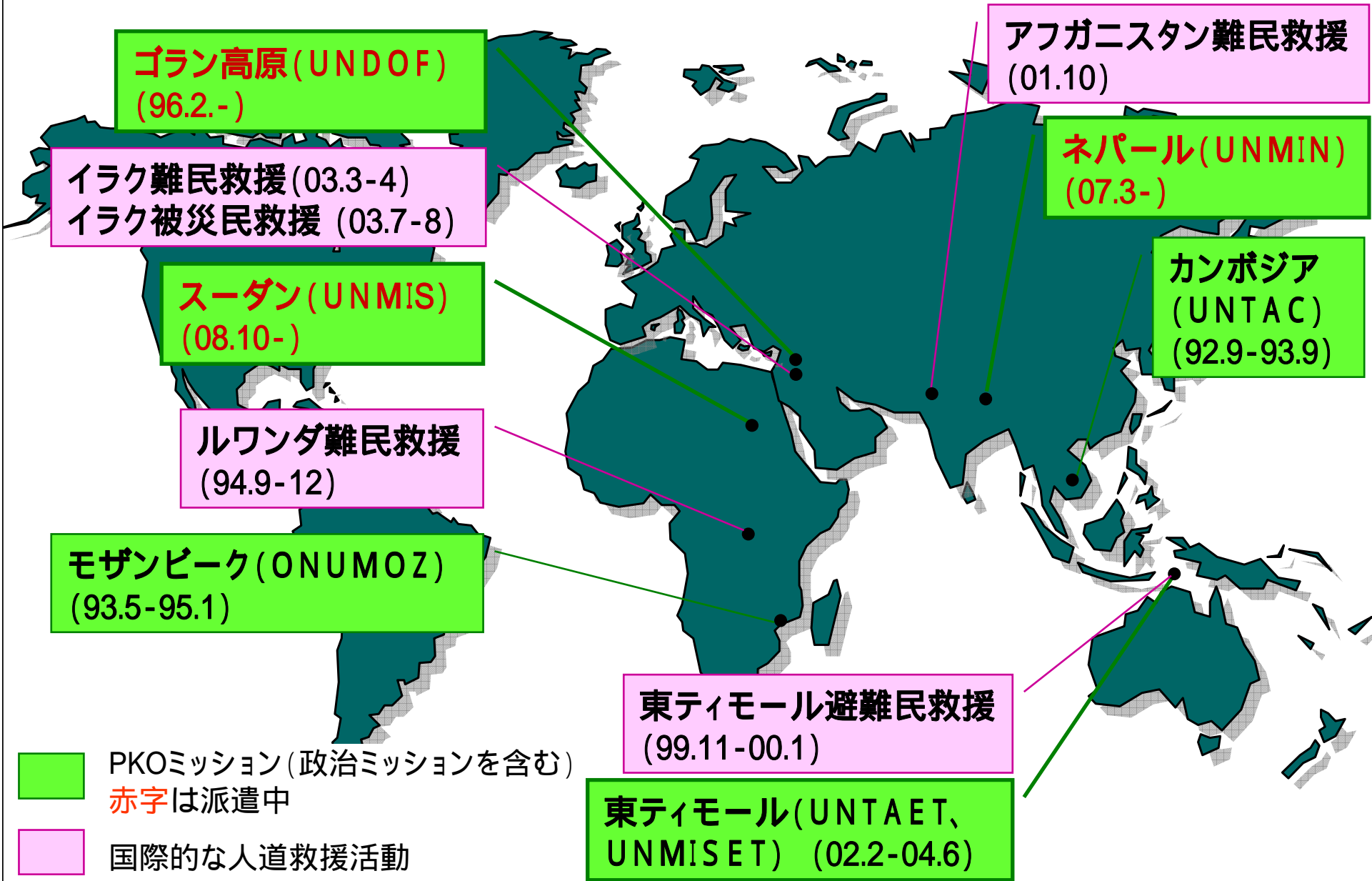
インド
H13.2.5~H13.2.11



インドネシア
H18.6.1~H18.6.22



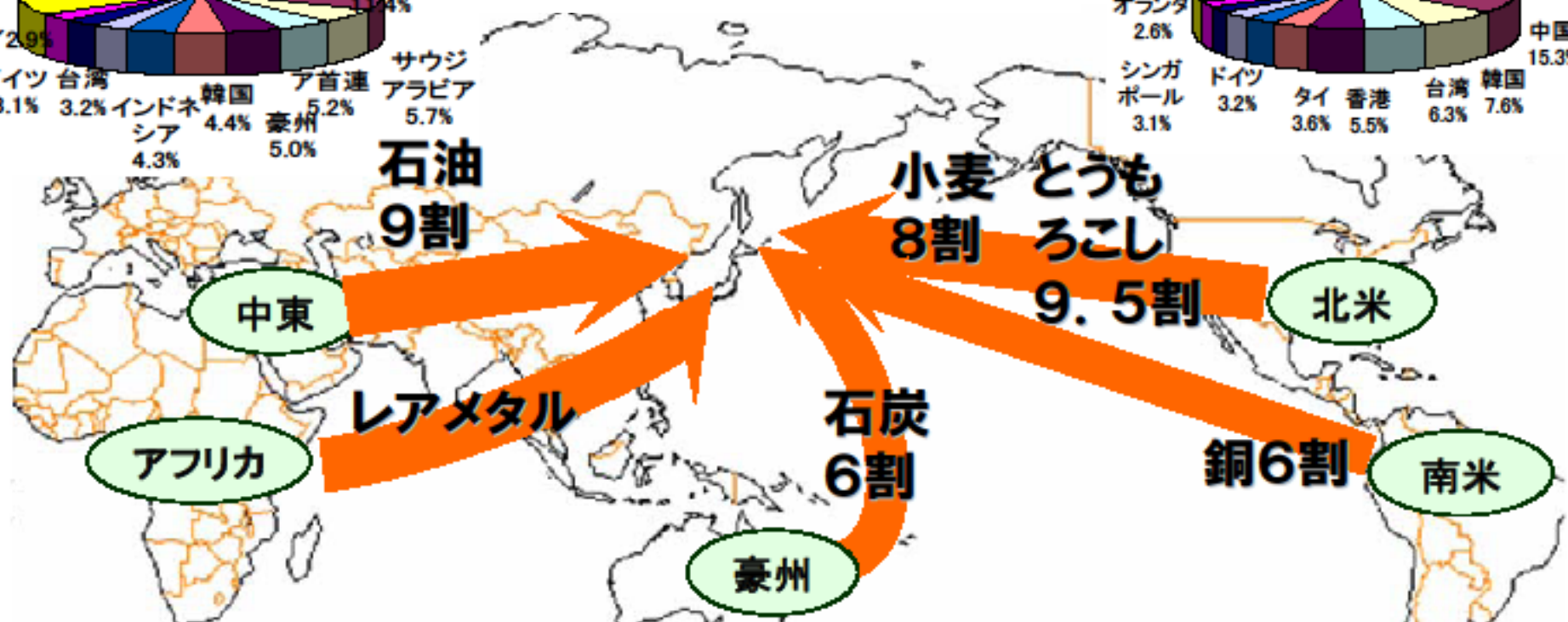
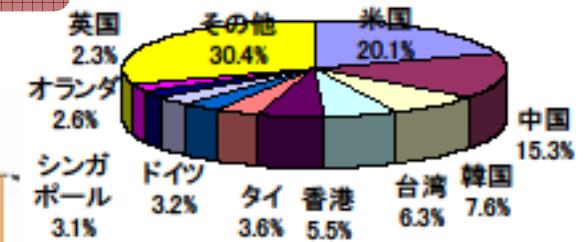
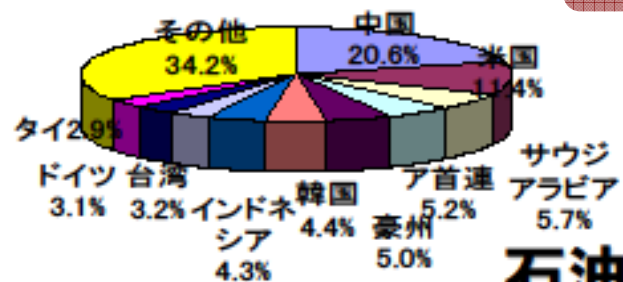
PKO法に基づく自衛隊の派遣実績



海外への資源の依存

主要輸入相手国・地域(2007年)

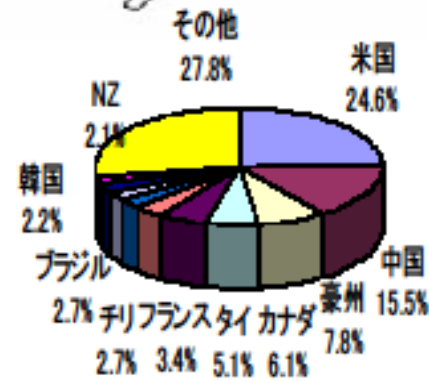
主要輸出相手国・地域(2007年)



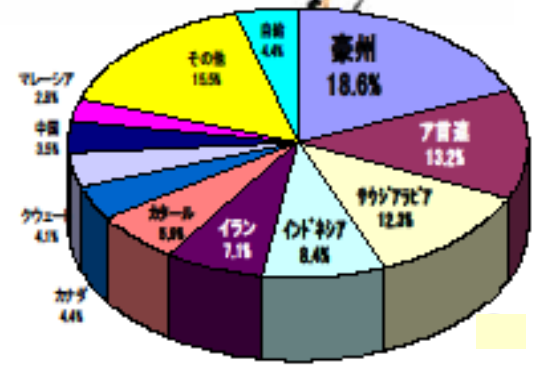
レアメタル輸入先(2005年)

	第1位	第2位
プラチナ	南ア(81%)	米国(6%)
クロム	南ア(49%)	カザフスタン(26%)
バナジウム	南ア(49%)	中国(25%)
マンガン	南ア(47%)	豪州(23%)

食料輸入先(2007年)



一次エネルギー供給源(2004年)



出典：外務省作成資料

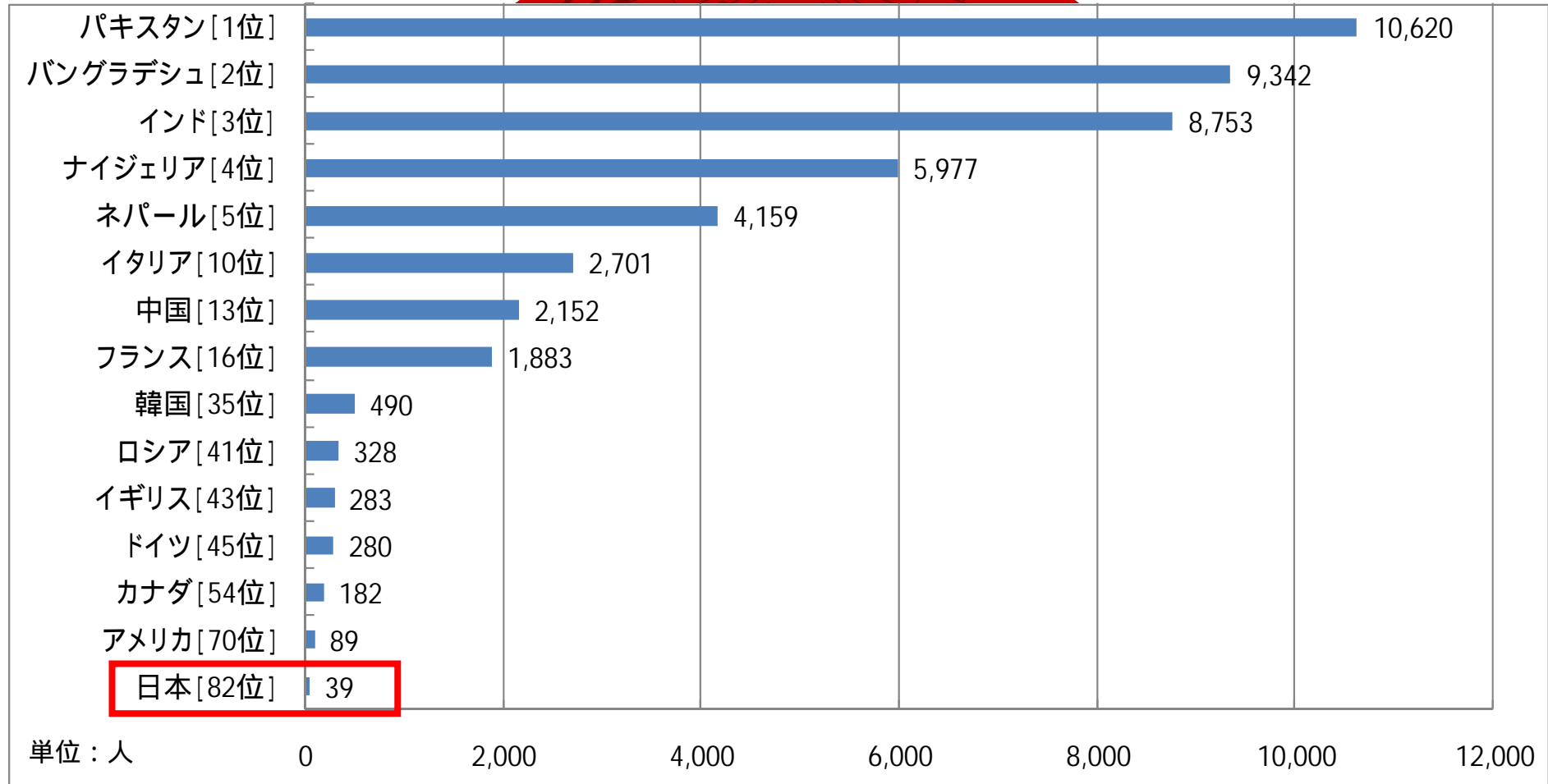
現在活動中の国連平和維持活動



(注) 国連による (2009年4月末現在)。

国連ミッションへの要員派遣の現状

～ 上位5カ国、 G8諸国及び近隣アジア諸国 ～



参考：国連HP（平成21年7月31日現在）

注：平成21年7月31日現在、我が国はPKO法に基づき、UNDOF(ゴラン高原)に46名、UNMIN(ネパール)に6名、UNMIS(スーダン)に2名、計54名の要員を派遣。しかし、UNDOFに派遣している46名のうち15名は自隊管理要員（PKO要員であるが、主として自国部隊のために業務を行い、国連によって派遣経費が賄われないもの）であるため上記国連統計には含まれない。